

11月
行事予定

今冬のご縁日

おたためこう

御畳講



11/20
日曜日
11:00~

本年も恒例の畳講を迎える季節となりました。
ご信徒の皆様のご寄進により、当山では毎年本堂の
畳替えを行っております。
畳講にお申込みいただいた皆様の家内安全や諸願
成就を祈願する大般若法要を執行いたします。

法要終了後、翌日より2~3日間にわたり畳職人が本堂の畳替えを行います。張り替え後は、イグサの香りが漂い、年の瀬を感じさせる清浄な空間となります。
作業期間中も参拝は通常通り可能ですが、一部作業の影響で多少のご不便をおかけすることがあるかもしれませんので、ご了承くださいませ幸いです。

【寺務所にて受付中】 講金 **2,000円**

しゃきょうくようえ

写経供養会

【寺務所にて受付中】
講金 **2,000円**

11/10
日曜日
11:30~

写経供養会では、今年度写経の会で奉納されたお写経を本堂のご宝前にて供養し、皆様の心願成就を祈念する大般若法要を執り行います。また、納経した巻数が五十巻ごとに達した方の表彰も行います。該当される方には、事前にお葉書にてご連絡いたしますので、当日は定刻までに本堂にお集まりください。なお、当日は通常通り写経の会を行います。

朝まいり会

11月1日~7日 午前8時~8時半 会費:500円也

皆様と一緒に「大聖歡喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日参加されなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会

11月10日(日) 午前10時・午後1時 会費:500円也

お経を一字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。始めてご参加される方は開始15分前にお越しください。

日曜勤行

11月10日(日) 午前9時 参加費無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

合同大般若法要

11月25日(月) 午前11時 法要料:5000円也

皆様と一緒にお上げする御礼の法要です。

要予約 坐禅の会

11月23日(土) 午前9時半~10時半 参加費:500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。
事前に寺務所にてご予約ください。

ライブ配信のご案内 (配信QRコード)

御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



いちよう

2024年11月号

令和6年10月20日発行/No.383

発行所: 待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030



聖天様には、三つのシンボルがあります。一つ目の大根は瞋恚、すなわち怒りの煩惱を、巾着は貪欲、欲望や執着を象徴しています。また、聖天様にお供えする御神酒は愚痴、無知や誤解による迷いを表しています。これらの煩惱は、仏教における三毒とされ、私たちの心を乱し、苦しみの原因とされております。これ浄化して私たちに救ってくださるのが、聖天様のご利益です。

現代の脳科学においても、ドーパミンという神経伝達物質が、私たちの欲望や報酬を感じさせる役割を担っていることがわかっています。ドーパミンが過剰に働くと、物質的な快楽や報酬を際限なく追い求めるようになり、依存症などの問題を引き起こすことがあります。例えば、ギャンブルや薬物に依存する人は、ドーパミンの過剰な刺激を求めるあまり、現実を見失い、自分自身をコントロールできなくなってしまいます。このように、ドーパミンの制御が適切にできないと、欲望に振り回され、苦しみを生む原因となるのです。

一方で、ドーパミンは努力により目標を達成したり報酬を得たときに、私たちに喜びや満足感をもたらす、意欲や行動力を与える必要不可欠なエネルギーでもあります。このエネルギーがあるからこそ、私たちは成長し、社会生活を送ることができるのです。

今月11月は中国で天台宗をお開きになった天台大師智顛様のご命日にあたり、浅草寺をはじめ天台宗の寺院で法会が行われます。天台大師も「若し、人、貪欲を離れて、さらに菩提を求むるは、譬えば天と地のごとし。貪欲は即ち菩提なり。」と説いております。これは、「もし人の欲が全てなくなり、悟り(菩提)を求めようとするならば、それは天と地ほどかけ離れたものとなる。貪欲こそが、そのまま菩提である。」という意味です。貪欲もまた、私たちの成長や悟りへの道に必要なエネルギーであり、それを否定するのではなく、そのエネルギーを正しく転化するべきであると示しています。

聖天様の巾着は、単なる欲望の象徴ではなく、煩惱を受け入れ、それをお智慧や慈悲のエネルギーに変えてくださる聖天様のご利益の象徴ともいえます。そのお智慧や慈悲のエネルギーが他者や社会への貢献となり、巡り巡って自分自身の心願成就の道しるべとなります。こうした仏縁を深めていくことこそが、天台大師の教えの実践となるでしょう。

「聖天様の巾着と貪欲」

総務部長

杉本真海

月間行事



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。



用語

コラム

「散華について」 水谷洸祐

秋も深まり、美しく紅葉している葉も次第に散っていきます。葉や花が散っていくさまは儚さと美しさが共存していることと思います。

本龍院では、百味法要や大法要の際に声明(しょうみょう)をお唱えしますが、そのひとつに『散華(さんげ)』があります。散華師が高らかに先唱し、他の僧侶がこれに続いて唱えます。重厚な声明と、鮮やかな色紙で作られた花びらを散らす作法など音楽的にも視覚的にも、法会において非常に華やかな部分です。

經典には、仏様が説法をする際に『天人が仏様を讃歎して花を降らせる』と説かれています。散華は、華の芳香によって悪い鬼神などを退却させ、道場を清めて、諸々の仏様をお迎えし讃歎し、供養するために行われます。元来は蓮弁(ハスの花弁)をはじめとする生花が使われましたが、いつの頃から蓮の形をかたどった色紙が代用されるようになりました。

ちょうど私達がお客様などをお招きする際に、掃除をしたり、花を生けたりして部屋や会場をお飾りすると同様に、心を込めて仏様をお迎えし、供養するための大事な作法のひとつなのです。散華には以上のような由来があることを理解して頂き、散華の花びらを受け取られた際はご家庭で大切におまつり下さい。



～ 提灯 ～

参道の入り口には、大根と巾着が描かれた提灯が対で設置されています。これらの提灯は毎年正月に向けてご奉納いただき、新調しております。通常は毎日閉堂前に提灯をしまいますが、元旦は夜間にも提灯を飾り、参道を明るく照らします。

また、正月期間には信徒会館や神楽殿にも高張提灯が設置され、境内には新年を迎える期待感と高揚感が漂い、新たな一年に向けた活気ある雰囲気広がります。



七五三参りのご案内

参加費: 5,000円

当山では十月から十一月を中心に七五三参りをご予約にて承っております。お参りは一 가족ごとに本堂内陣で行者様から直々にお加持を授けられます。またお子様のお名前が入りましたお守りとお供物をお授け致します。特に土日の法要はご希望の方が多い場合がございますので、お早めに寺務所にてお申し込みください。



《ご報告》

「開山会」

9月20日(金)開山会を執行いたしました。当山の開山の故事にちなんだ特別な儀式として、お練り行列で本堂の廻りを一周して竜神様をお招きし、世話人様1人1人が供物をご宝前に様々な供物をお供えし、百味法要を執行いたしました。法要後は5年ぶりに抹茶接待を行いました。



「ご奉納」

小田保中様より揚巻房の環珞をご奉納いただきました。(右)
安井直美様よりお供え用の三宝をご奉納いただきました。(下)



ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壹万二千元(一週間)
浴油祈祷 四千元(一週間)
華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。
百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。
大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。
自動車加持 法要料 壹万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

